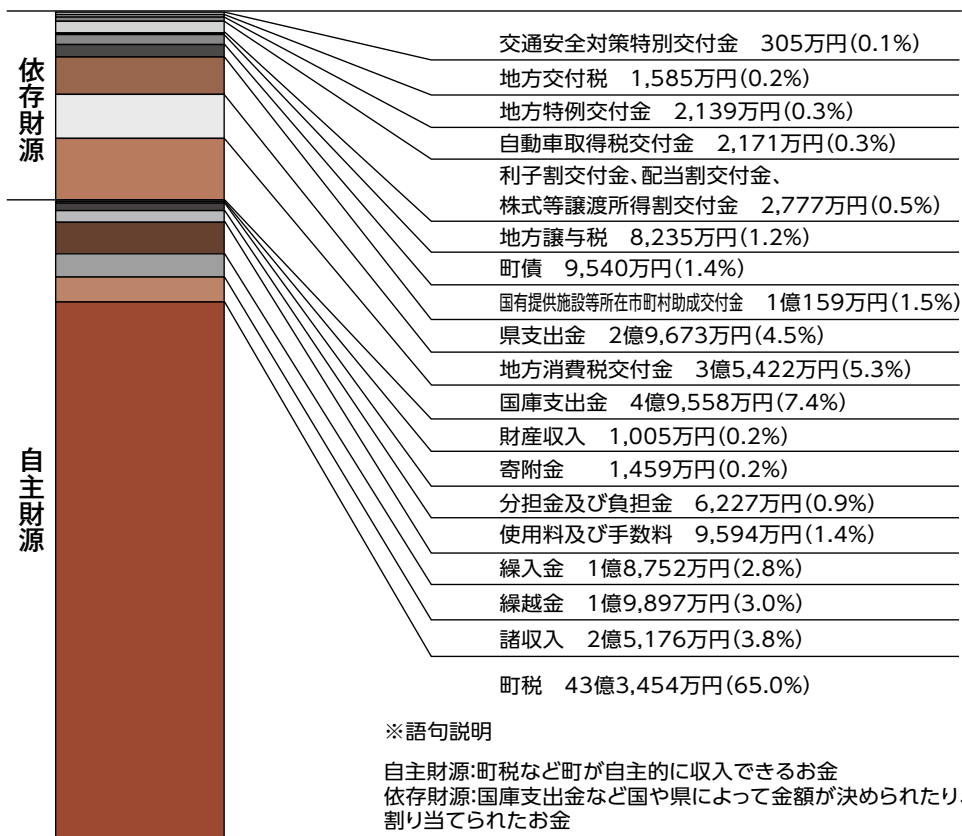


決算報告と理想の未来に向けて

歳入 66億7,128万円



平成30年度決算についてお知らせします。

一般会計の歳入は66億7128万円、予算現額に対して98・7%の収入率でした。歳出は効率的な執行の結果、64億1610万円となり、予算現額に対して94・9%の執行率でした。今月号では昨年度の歳入と歳出の執行状況と実施した主な事業、財政健全化法に基づく健全化判断比率と資金不足比率の算定結果についてご報告します。

歳入

歳入総額は、前年度比1億1392万円の減収となりました。これは、法人町民税が大きく減少したことが主な理由と考えられます。

また、平成20年度から導入した都市計画税は、都市計画事業を対象とした

目的税であるため、下水道の整備費に充当しました。

歳出

歳出総額は、前年度比1億7012万円の減少となりました。

目的別歳出では土木費で1億3023万円の増加（対前年度比プラス23・2%）、農林水産業費で2642万円の増加（対前年度比プラス41・2%）となる一方で、総務費は3億8607万円の減少（対前年度比マイナス24・3%）、民生費は1219万円の減少（対前年度比マイナス0・6%）となりました。

平成30年度末で、第4次総合計画の後期基本計画期間も残すところあと1年となりました。平成30年度は、計画の総仕上げに向けた取組を進めるとともに、まちの将来を見据えた長期戦略を意識し、行政運営を行いました。